

## 令和5年度 第2回愛西市総合教育会議 会議録（概要）

会議名称	令和5年度 第2回愛西市総合教育会議	
開催日時	令和6年3月13日（水）午後2時から午後3時15分まで	
開催場所	愛西市役所 北館3階 災害対策本部兼会議室1・2	
議長名	日永貴章	
出席者	別紙のとおり	
欠席者	1人	
公開・非公開	公開 ただし、議題（2）については非公開	
傍聴人の数	3人	
議題	(1) 小中学校規模等適正化・老朽化対策について (2) いじめ・不登校の現状について (3) その他	
会議経過	別紙のとおり	
会議資料	次第 資料番号1 愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策基本計画（案） 資料番号2 いじめの現状について・不登校児童生徒の状況について 参考 パブリックコメント 総合教育会議 配席図	
会議録の確定		
確定年月日	署名者	
令和6年 月 日	愛西市市長	日永 貴章
	愛西市教育委員会	水谷 芳廣

1. 愛西市総合教育会議設置要綱第3条に基づく出席者

役 職	氏 名	備 考
市 長	日 永 貴 章	
教 育 長	河 野 正 輝	
教 育 委 員 会 委 員	杉 方 南 衣	職務代理者
〃	水 谷 朋 和	
〃	大 竹 節 雄	
〃	難 波 知 里	欠 席
〃	水 谷 芳 廣	

2. 出席した職員

役 職	氏 名	備 考
副 市 長	鈴 木 睦	
(市長部局事務局)		
企 画 政 策 部 長	西 川 稔	
企 画 政 策 部 参 事	澤 井 勇 一 郎	
企 画 政 策 部 経 営 企 画 課 長	井 戸 田 悦 孝	
企 画 政 策 部 経 営 企 画 課	若 松 孝 志	
〃	服 部 陽 介	
〃	木 村 郁 哉	
(教育委員会事務局)		
教 育 部 長	佐 藤 博 之	
教 育 部 次 長	小 島 洋 志	
教 育 部 学 校 教 育 課 長	猪 飼 政 和	
教 育 部 生 涯 学 習 課 長	石 田 泰 弘	
教 育 部 ス ポ ー ツ 課 長	長 谷 川 努	
教 育 部 学 校 教 育 課 主 幹	吉 田 光 男	
教 育 部 学 校 教 育 課	坪 井 靖 史	
〃	祖 父 江 悠 里	

## 会議経過

発言者	内 容
市長	1. あいさつ
	2. 協議事項
	(1) 小中学校規模等適正化・老朽化対策について
事務局	(資料1について説明)
副市長	実行計画は作るのか。令和6年度から令和13年度までに施策1から施策5までを行う予定か。また、健全度調査と耐力度調査の両方をしなければならないか。資料50ページの計画の進め方について、県の教育委員会と意見を調整したか。
事務局	準備委員会等と並行するが、実行計画は各施策ごとに具体的なスケジュールを踏まえた計画を策定することになる。 ただし、施策5は学校施設の老朽化対策ごとに、計画が必要になってくると考えている。
事務局	健全度調査については、改築もしくは大改修をする前提として行うもので、国補助金等の交付を受けるためには必要であると県教育委員会から助言を受けている。 耐力度調査は、健全度調査と同じ位置付けと考えている。改めて計画を実行する段階で、県の教育委員会と協議していく予定である。
副市長	計画の進め方は、公表するか。
事務局	計画を進めるにあたり、仮称の準備委員会を設置し、検討協議していく。現在、教員を委員とする佐屋小学校老朽化対策検討委員会 <sup>※1</sup> 、学校規模適正化課題検討委員会 <sup>※2</sup> で議論を進めている。 また、市長部局の職員によるプロジェクトチームを改めて発足し、議論を進め、それぞれ適切に公表を考えていく。
副市長	コミュニティや防災になると、基本構想は必要ではないか。

※1 愛西市立佐屋小学校の教員を委員とし、佐屋小学校学校施設の現状を基に、老朽化に関する課題や改善事項を洗い出し、明確にすることで、準備委員会（仮称）での検討・協議を円滑に進めることを目的とする委員会

※2 愛西市立小中学校の教員を委員とし、愛西市立小中学校の適正化事業に関する課題を洗い出し、明確にすることで、準備委員会（仮称）での検討・協議を円滑に進めることを目的とする委員会

事務局	<p>パブリックコメントを踏まえ、防災及び地域の交流の場等、様々な機能を併せ持つ観点について明記した。実行計画の中で基本構想をどのような形で示すのかは、教育委員会や準備委員会においても、議論を進めていく必要がある。</p>
市長	<p>資料1、30ページの中高一貫教育の影響について、この4月からの清林館中学校への進学率はどの程度か予想されているか。</p>
教育長	<p>現在教育委員会が把握している状況として、愛西市立の中学校以外へ就学する予定者数は、清林館中学校に10人、清林館中学校以外へは12人の合計22人。令和5年度の中学校一年生で愛西市立の中学校以外へ就学した生徒は14人であったため8人の増。</p> <p>清林館中学校への就学者数10人の内訳は、市内12小学校中、3人が1校から、2人が1校から、1人が5校から、そして0人が5校と、大きく偏った傾向はない。清林館中学校への占める割合は14%程度である。</p> <p>なお清林館中学校以外では、大学法人附属中学校や中高一貫教育の中等教育学校、県外の私立中学校への進学など、進路選択は多様化している。</p>
市長	<p>清林館中学校への進学率は今後増える可能性もあると思うがどうか。</p>
教育長	<p>令和6年4月の愛西市立中学校の学級編制に関しては、清林館中学校も含め、愛西市立中学校以外への就学者数の影響による対応が必要な状況には至っていないが、令和7年度の津島高校附属中学校への就学者数次第では、市立中学校の学級編制に影響が生じることも考えられることから、市内小学校の児童が希望する進学先に関する情報を可能な限り確認する必要があると考えている。</p>
市長	<p>この4月からの清林館中学校、来年4月からの津島高校中等部の開校は、市立中学校運営に影響は必ずある。早い段階で情報収集ができれば、新年度を迎える準備時間が取れると思うので、教育委員会としても、どのように情報をキャッチしていくのかを検討していただきたい。</p> <p>3月8日の教育委員会では、パブリックコメントの意見について協議が行われたとの説明があったが、特に教育面で、お気づきの点があれば説明、感想を。</p>
委員	<p>学校規模の適正化に関して、小規模校のメリットについて意見が多く寄せられた。小規模学校であるが故のメリットの多くが適正規模の学校において、少人数指導などの手法により達成できるものであり、適正規模のメリットを重視する必要があると考える。</p>
委員	<p>今回のパブリックコメントにおいて、小規模学校のメリットを活かした</p>

委員	<p>教育をすることで、地域の学校を無くさないで欲しいという意見も多くある。しかし、今の教育環境を考えると、設備の整った新しい学校で、多くの学友と知識の豊富な先生方から良い授業を受けることが、最も児童にとって良い環境だと思う。</p> <p>これからの子どもたちにとって、人との関わりの中で、多くを体験して価値観を学ぶための成長過程において、固定された人数で過ごすことはベストとは思えない。集団の中でこそ、個別最適な学びを具現化できるのではないかと考える。多様性を尊重し、多くの個性を尊重する時代だからこそ、大勢の中でそれが培っていくことができると思う。</p> <p>今も主体的対話的で深い学び、アクティブラーニングを基本に授業されているが、今後は一斉授業が少なくなる。人数が少ないとできないものではないが、より多くの人数の中でこそ、効果的に活かされていくと思う。</p>
委員	<p>昨年 11 月の立田地区、八開地区の意向調査での意見と非常に共通しており、学校が無くなることによって、地域の過疎化が一段と進むという地域の思い、危機感が感じられるコメントが多くあった。こうした思いを踏まえて、今後どうしていくかということの説明していくことが大事だと思っている。</p>
市長	<p>パブリックコメントの中では、まだまだ周知が足りないという意見も見られた。今後準備委員会を発足し、保護者や地元の方に参画していただき、事業を進めていくこととなるが、周知についてどのような工夫が必要か。</p>
委員	<p>周知については、こんな学校になるという具体的な姿を伝えることが大事だ。施設設備の面でも、こんな学校を作ってくということ伝えていけると良い。</p> <p>準備委員会で検討されていく課題を整理して、教育委員会と学校で進めていく事項、保護者や地域住民の方が加わり検討していく事項、担当部局で検討し原案を示す事項などと、具体的な姿を順次周知していくことが大事だと思う。</p>
市長	<p>積極的に情報発信をしていくことは非常に大切なことであり、それに対して良いアイデア、提案が出る場合もあるので、そういった意見に耳を傾けながら進めていくことが必要である。</p> <p>教育学部を出られた方々の教員志望が過去と比べ多くないような話があるが、傾向はどうか。</p>
教育長	<p>これは愛西市に限ったことではなく、全国的な傾向である。海部地区、愛知県においては採用倍率も低いとは言えないが、学校や学校事務に魅力がないといけない。愛知県には、教職課程のある大学数が多くある。</p>

<p>市長</p>	<p>また、教員免許を持っていないながらも、教職に就いていない方もいるので、懸命に人材を見つけながら、教員の魅力を発信していく。教員の働き方改革が避けて通れない。教員がブラックな職種であるとの認知が広がっており、若い世代では転職は当たり前の意識になっている。</p> <p>教育、教職の魅力を発信が愛知県、愛西市ともに課題であるが、良い教育を実現するためには人材確保は基盤であるから、努力していく。</p> <p>学校は教員がいなければ、成り立たない。新たな若い人が教員になりたいと思っただけけるよう、そして、愛西市の各学校へ良い教員を配置していただくよう、県へ働きかけをしていただきたい。</p> <p>今は愛西市に教員が十分に配置されているか。</p>
<p>教育長</p>	<p>7市町村の状況や、愛知県内の他地区の状況を聞く機会があるが、難しい地域が県内にある中、愛西市は比較的落ち着いた状況にある。</p>
<p>市長</p>	<p>我々も含めて、保護者や地域の方も学校を応援していただかないと、教員の方々もなかなか来ていただけないので、協力していきたい。</p>
<p>教育長</p>	<p>本日、市内小中学校の教員の方々から、課題について洗い出しを行う学校規模適正化課題検討委員会が開催された。</p> <p>その中で出た意見について紹介する。統合前の事前交流ではオンラインの活用を十分に。学校行事については居住地や学校ごとで継承されてきた行事の計画実施をしっかりと考えて。PTAについては組織率が学校ごとで違うが役員数や組織の調整を事前に。部活動について、統合後の3年生の大会出場機会は、夏の大会までは統合したチームではなく、2年生まで練習した仲間たちと一緒に試合へ出させるべき。2つの学校2つのチームが合同チームになった場合キャプテンはどうするのか。新しい学校として希望や期待で胸が膨らむような改修を。備品調査には調査専用の臨時職員の配置を。通学路については早期に決定して、危険箇所の対策にも早目に取りかかってほしい。中央図書館前の混雑緩和策の検討。見守り隊の配置場所の検討。大人に変えられたのではなく、子供たちが作ったという、そういう意識を持たせて考えて欲しい。こういった意見があった。</p>
<p>市長</p>	<p>それでは議題1につきましたは以上とする。</p> <p>教育委員会においては、引き続き市当局とも協議、調整を行いながら、今後、準備委員会等により、保護者の皆さんや地域の皆さんのご意見を聞き、事業を進めていただきたい。</p> <p><b>(2) いじめ・不登校の現状について</b> 非公開 (資料2に基づいて事務局から説明後、いじめ・不登校の現状について議論)</p>

	(3) その他 特に無し
--	-----------------